

日 薬 定 例 記 者 会 見 要 旨

日 時：令和7年6月4日（木）10：00～10：30

場 所：日本薬剤師会 第一会議室

出席者：岩月会長、原口副会長、上野専務理事

内容・提出資料：

1. 令和8年度予算及び税制改正に関する要望について

（日薬発第80号 令和7年6月3日）

上野専務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

薬剤師・薬局が国民に安全・安心な医療を安定して提供するためには、環境の整備・拡充が不可欠なことから、次年度の国家予算及び税制改正等について、毎年関係方面に要望を行っている。令和8年度予算及び税制改正に関する要望事項については、この程とりまとめを行い、都道府県薬剤師会に通知したところである。また昨日、本会役員が厚労省の関係部局を訪問し説明・要望を行った。後日、文科省の訪問も予定している。

○予算要望事項（重点事項のみ抜粋）

1. 国民・患者の健康を守るために必要な財源の確保

①医療費財源確保のための予算措置（重点事項）

2. 公平な診療報酬の改定

①公平な診療報酬の改定（重点事項）

3. 地域医薬品提供体制の強化に向けた支援

①地域住民が薬剤師サービスを過不足なく享受できる体制整備（重点事項）

4. 医療DX推進への支援

①医療DX推進に向けた継続的な体制維持に係る予算措置（重点事項）

②調剤録等の薬局情報が電子カルテと連携するための標準化に向けた検討への財政支援（重点事項）

5. 薬剤師の確保および資質の向上

①セルフケア・セルフメディケーションへの対応能力向上に向けた支援（重点事項）

○税制改正要望事項（重点事項のみ抜粋）

1. 地域医薬品提供体制の強化に向けた支援

①医療計画と整合性のとれた地域医薬品提供体制の構築・維持（重点事項）

②在庫医薬品の資産価値減少への対応（重点事項）

③社会保険診療報酬等に係る消費税に対する取扱い（重点事項）

2. 医療DX推進への支援

①薬局の業務の効率化を促進するための高額機器類の購入に関する取扱い（重点事項）

3. セルフケア・セルフメディケーションへの支援

⑤セルフメディケーション税制の普及促進（重点事項）

4. 薬剤師の確保および資質の向上

⑩奨学金の返済に対する取扱い（重点事項）

2. 日本薬剤師会 第106回定時総会の開催について

上野専務理事より、掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

6月28日(土)、29日(日)の2日間、第106回日本薬剤師会定時総会を開催する。議題として、報告第1号 令和6年度会務並びに事業報告の件、議案第1号 令和6年度決算承認の件、議案第2号 公益社団法人日本薬剤師会会長候補者、副会長候補者及び監事選挙規程一部改正の件、議案第3号 公益社団法人日本薬剤師会役員報酬等規程一部改正の件、議案第4号 令和8年度会費額の件を予定している。

主な質疑応答は以下のとおり。

〈地域医薬品提供体制強化のための「アクションリスト」について〉

記者：地域医薬品提供体制強化のためのアクションリストの骨子を示されたが、方向性についてもう少し詳細に伺いたい。

岩月会長：如何に地域に医薬品を届けるか。各地域がそれを実現するために地域の現状を把握し、課題をグリップし管理する重要性をどう理解していただくか、内容を詰めているところである。6月中にはとりまとめ、公表したい。

〈財務省「春の建議」について〉

記者：財務省の財政制度等審議会が「春の建議」で、調剤技術料の伸びが顕著となっていることを指摘したが見解はいかがか。

岩月会長：薬物治療が高度化し高額な医薬品が増えれば、薬剤師が管理する項目も、患者に向き合う時間も増加する。処方長期化すれば確認業務も更に増える。このように、医療の状況の変化による業務量の増加に伴って、技術料も増えたと理解している。

次回の定例記者会見は、令和7年6月19日(木) 11:00~を予定。